## 車業報告シート

事業報告シート						
事業分野	もの(まち・Kらし・その他	登録日				
事業名称	じぶんの家のキケン発見ワークショップ(大震災に	ー 備えるフォーラム	in中野)			
開催日時	平成 26年 7月 6日(日) 12:00 ~ 15:30	会場 中野区役	所前庭			
ふりがな	トウキョウケンチクシカイ セイネンイインカイ	1				
活動団体名	一般社団法人東京建築士会 青年委員会 ・ 防災ハンドブックWG(星野、山崎、竹田、畠山、今村、 ・ 松村、大坂、木村、佐藤、渡辺	武居)				
事業の目的	建築士がその専門性を活かしながら、地域防災において積極的な役割を担うことが期待されるが、防災に向けたまちづくりに関与している建築士はまだまだ少ないのが現状である。 東京建築士会では、建築士が積極的に地域に働きかけるためのツールとして防災ハンドブック(『防災本』)を作成した。中野区で開催される耐震フォーラムでは、この『防災本』とワークシートを使い子ども向けの家具転倒防止促進のためのワークショップを開催する他、防災本をモチーフにしたトランプで遊んでみるなど、一般市民が気軽に防災にふれられる場とする。					
	<テーブルA>じぶんの家のキケン発見!ワークショップ(1)リビング立体模型により地震時シミュレーションを見学家具転倒の危険性についてイメージを高める(2)ワークシートに書かれた家具の絵をはさみで切り取りじぶんの家のリビングダイニングのレイアウト図を作成(3)地震が起こったときに転倒等の危険がある箇所に「危(4)「危!!」シールのカ所数を数えて記入する(5)ワークシートは自宅へ持ち帰る 《テーブルB>防災トランプで遊ぼう  《テーブルC>ストローハウスをつくろう   ボスター「防災マップをつくろう!」 防災本イラストのスライドショー(ipad等)+防災本製本	- 台紙に貼り する !!」シールを貼る	ポスター个	立体模型 B	A	

主な事業内容

助災本イラストのスライトショー(pad等)+ 防災本 固有周期の異なる3つのスポンジビル、紙ぶるる

当日は約40組の親子が訪れた。 子どもがワークショップしている間は親は離れて待っているケースが多く 子どもだけでも、作業に集中できていた。 家具転倒防止のワークでは「危」シールをスムーズに貼っており 「どうして危ないのか」と聞くと元気に答える知識のある子どもが多かった。 危ないのはわかっていても対策を講じていない家が多く 今後はさらに一歩すすんで対策を講じるためのワークに出来ればよい。

ワークを終えた子どもに防災本を渡して 「今のはこのページに書いてあることを学んだんですよ」と伝えると じっとページを凝視する子どもも多かった。 防災や建築士について何かしら感じ、記憶に残ったのではないかと思う。



J	]				
事業収支	収入計 ¥0 <del>支出</del> 計 ¥0 収支 ¥0				
参加者					
建築士の関り	【当日】ワークショップ開催・展示説明 【事前準備】 防災本の作成・小学校や学童でのワークショップの開催				
今後の検討課題	地元の建築士に手法を伝達しこのような活動を多くの地域に広げる。効果的な動線を設ける。午前中の方が子どもの参加が多かった。危険を知るだけでなく対策を講じるためのワークへ発展させる。				
連携・協力組織等	中野区耐震改修促進協議会主催、中野区共催、一般社団法人東京建築士会まちづくり委員会協力				

## 活動状況写真





	たけすえ ゆきこ	TEL/FAX	03-3536-7711 / 03-3536-7712		
	武居 由紀子		event@tokyokenchikushikai.or.jp		
団体所在地	東京都中央区晴海1-8-12晴海アイランドトリトンスクエアZ棟4F	URL	www.tokyokenchikushikai.or.jp		